

後期高齢者医療制度被保険者 健康診査等データから見える現状

<健康診査のデータから>

- ・全国と比べ、血糖値が高めの人の割合が男女とも高い。
- ・全国と比べ、男性の1日の飲酒量3合以上と回答した人の割合が高い。

<医療費のデータから>

- ・患者数上位に生活習慣病（高血圧性疾患、糖尿病、脂質異常症）がすべて入っており、被保険者全体に対する生活習慣病の患者の割合は84.7%となっている。
- ・高額な医療費、医療費上位ともに「骨折」、「その他の心疾患（心不全等）」、「その他の悪性新生物」、「腎不全」、「脳梗塞」が入っている。
- ・ロコモティブシンドローム※¹の患者の割合が被保険者の47%を占める。

<介護のデータから>

介護・介助が必要となった主な原因は、「高齢による衰弱」が22.4%と最も高く、次いで「転倒・骨折」が12.5%、「心臓病」が12.2%となっている。

・生活習慣病（糖尿病等）の予防と重症化予防（腎不全や脳梗塞等の予防）

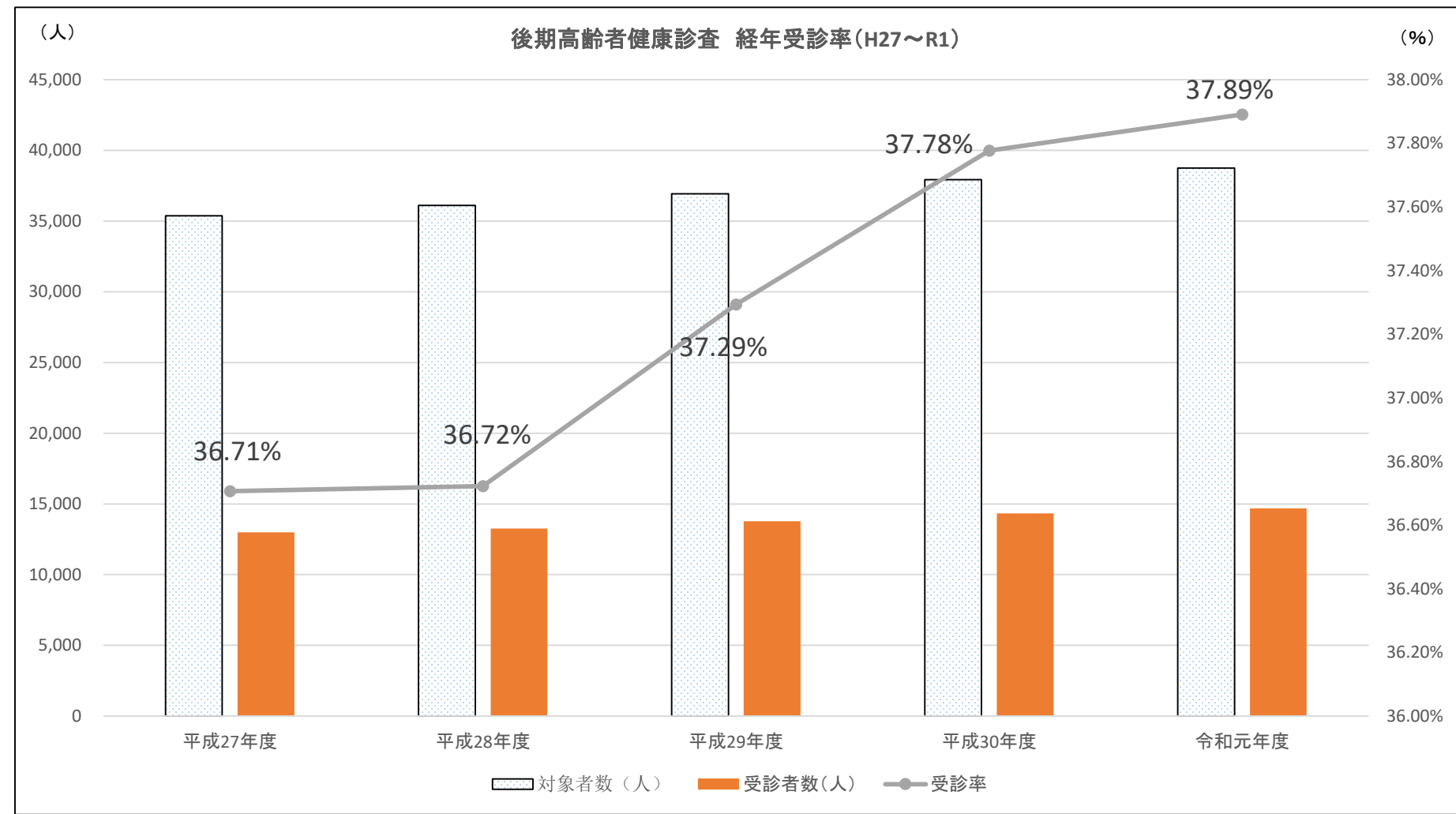
・ロコモティブシンドローム予防（転倒や骨折の予防）

フレイル（虚弱）※²の予防

※¹ ロコモティブシンドローム：手足等の関節などの運動機能低下のために自立度が低下し、介護が必要となる危険性の高い状態のことをいいます。

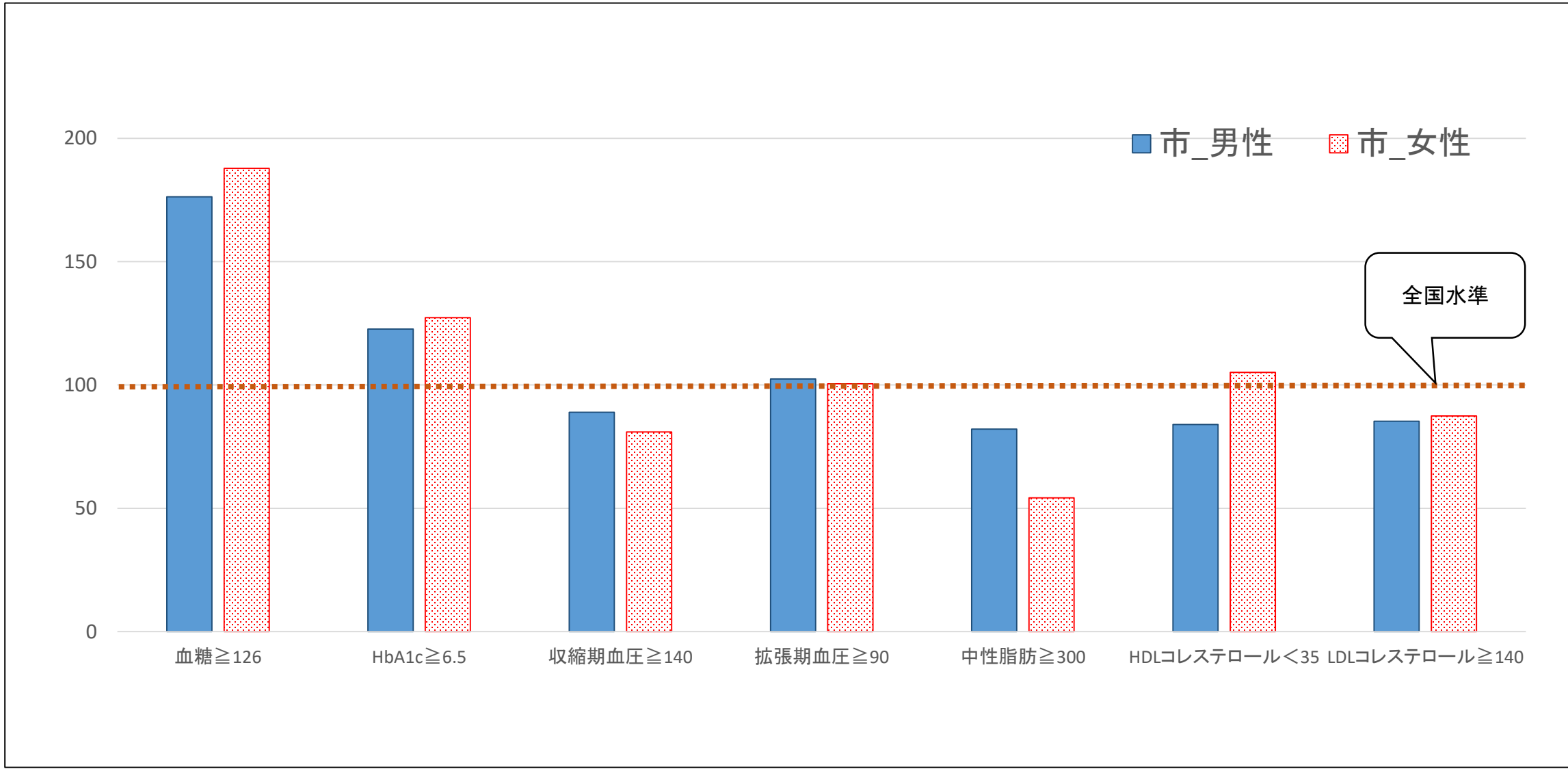
※² フレイル：加齢に伴い、心身の機能が低下した「虚弱」を意味する言葉で、健康と要介護の中間の状態のことをいいます。

青森市 後期高齢者健康診査 経年受診率（平成27年度～令和元年度）



出展: 青森市健康福祉要覧

平成30年度 後期高齢者 健診受診者の有所見状況 (全国比較)



出展：
KDBシステム「健診有所見者状況」データ
「地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集（国立保健医療科学院）」のツールを用いて、標準化比で集計。「標準化比」は、該当者の割合を年齢調整したうえで、都道府県や国を基準とした比で表現したもの。全国を100とした場合の青森市の該当割合を意味する。

平成30年度 後期高齢者 健診受診者の既往歴・生活習慣の状況 (全国比較)



出展：KDBシステム「質問票調査の状況」データ
「地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集（国立保健医療科学院）」のツールを用いて、標準化比で集計。「標準化比」は、該当者の割合を年齢調整したうえで、都道府県や国を基準とした比で表現したもの。全国を100とした場合の青森市の該当割合を意味する。

基礎統計

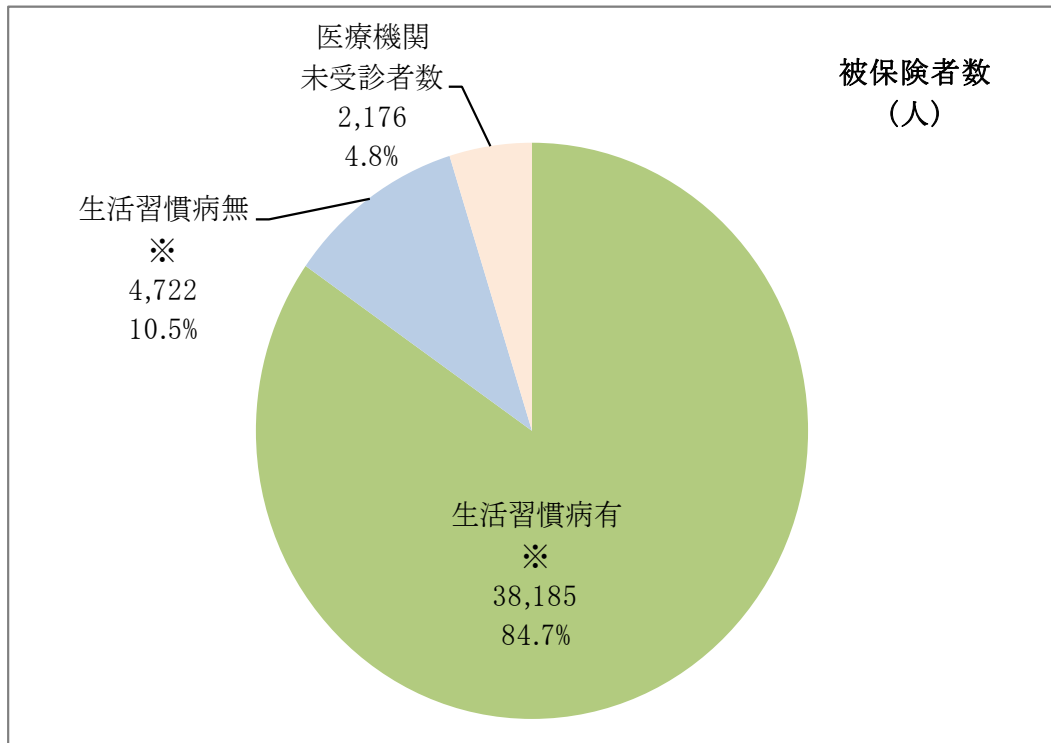
➤ 年齢階層別基礎統計

年齢階層	被保険者数 (人)	患者数 (人)	有病率 (%)	医療費 (円)	被保険者一人当たりの 医療費(円)	患者一人当たりの 医療費(円)
65歳 ~ 69歳	809	785	97.0%	1,268,760,550	301,610	467,803
70歳 ~ 74歳	1,131	1,099	97.2%	1,821,064,450	180,994	278,256
75歳 ~ 79歳	15,772	14,741	93.5%	10,063,841,860	274,181	381,979
80歳 ~ 84歳	12,492	12,018	96.2%	9,897,544,280	395,054	545,502
85歳 ~ 89歳	9,270	8,906	96.1%	8,085,023,710	382,176	491,504
90歳 ~ 94歳	4,247	4,077	96.0%	3,745,636,530	398,789	458,399
95歳 ~	1,362	1,281	94.1%	1,137,743,010	580,033	584,873
合計	45,083	42,907	95.2%	36,019,614,390	393,203	473,383

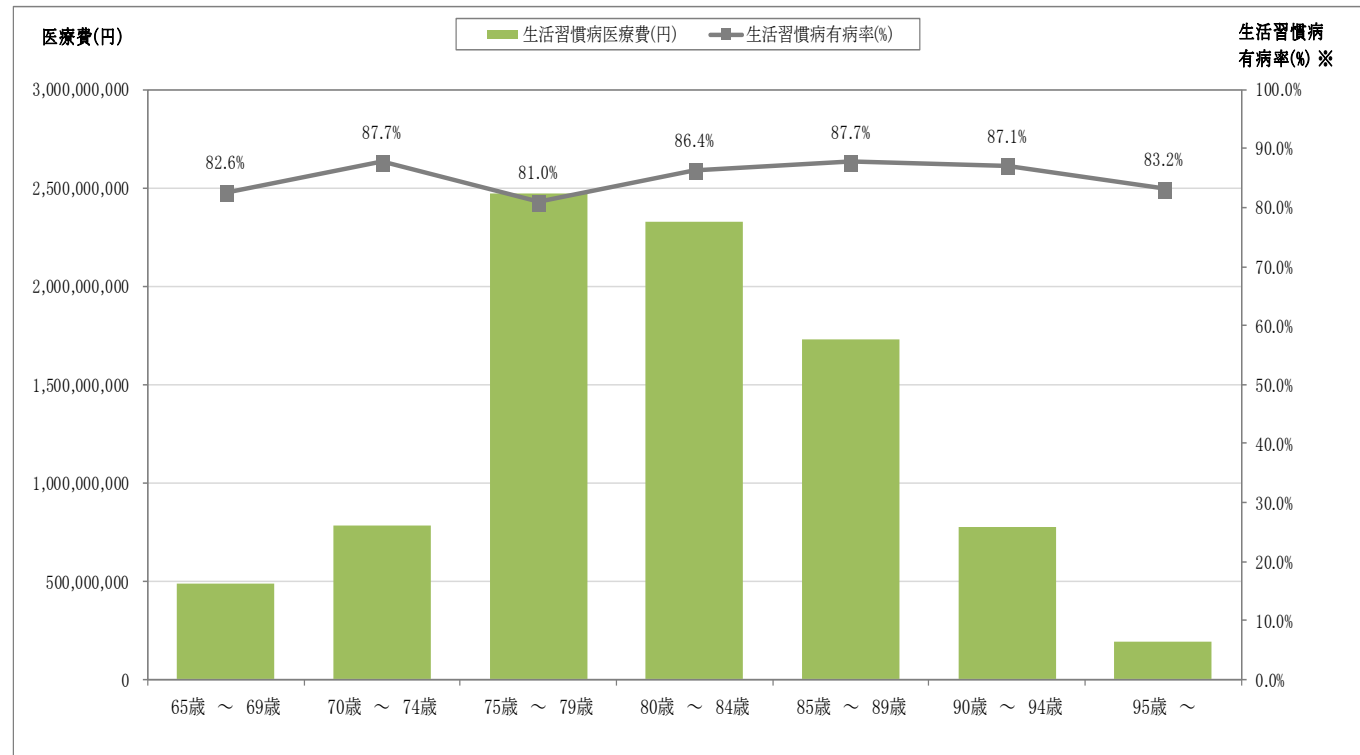
出展: (株)データホライゾンによる医療費分析

被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況

被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 ※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。
 ※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。
 生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
 0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 ※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。
 生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
 0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

高額レセプト 要因となる患者数上位10疾病

順位	中分類	中分類名	主要傷病名 (上位3疾病まで記載)	患者数 (人)	医療費(円)		
					入院	入院外	合計
1	1901	骨折	大腿骨転子部骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	549	1,403,239,140	194,639,380	1,597,878,520
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 去勢抵抗性前立腺癌, 膀胱癌	423	926,743,730	530,215,680	1,456,959,410
3	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 人工股関節周囲骨折, 肩関節拘縮	421	1,158,633,680	122,078,770	1,280,712,450
4	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性うっ血性心不全, 左心不全	418	1,116,703,200	209,677,760	1,326,380,960
5	0906	脳梗塞	心原性脳塞栓症, アテローム血栓性脳梗塞, 脳梗塞	386	1,182,418,630	94,139,290	1,276,557,920
6	1402	腎不全	慢性腎不全, 尿毒症, 腎性貧血	332	840,263,940	1,059,028,610	1,899,292,550
7	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 特発性肺線維症, 特発性間質性肺炎	279	640,315,680	140,378,600	780,694,280
8	1004	肺炎	肺炎, 急性肺炎, 細菌性肺炎	165	297,842,340	46,513,790	344,356,130
8	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石, 総胆管結石性胆管炎, 急性胆のう炎	165	264,269,290	68,762,000	333,031,290
10	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 急性心筋梗塞	164	386,078,610	94,861,550	480,940,160
10	1302	関節症	変形性膝関節症, 一側性形成不全性股関節症, 両側性原発性膝関節症	164	413,565,580	75,140,840	488,706,420

※高額レセプトの医療費…高額（5万点以上）レセプトの医療費。

出展：(株)データホライゾンによる医療費分析

患者数 上位10疾病

高血圧性疾患をはじめ、その他の消化器系の疾患、その他の心疾患（心不全等）、糖尿病が上位に来ております。

総合計	医療費総計 (円)	レセプト件数 (件)	患者数 (人)
	35,912,258,080	1,244,518	42,824

順位	中分類疾病項目	患者数 (人)	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)	医療費 (円)
1	高血圧性疾患	31,294	73.1%	1,546,113,415
2	その他の消化器系の疾患	28,176	65.8%	1,417,220,602
3	その他の心疾患	21,301	49.7%	2,415,178,030
4	糖尿病	20,832	48.6%	1,209,919,702
5	症状、 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,636	43.5%	565,353,908
6	脂質異常症	18,517	43.2%	648,826,434
7	その他の神経系の疾患	17,082	39.9%	1,125,558,191
8	虚血性心疾患	15,779	36.8%	760,008,470
9	その他の眼及び付属器の疾患	14,703	34.3%	447,054,401
10	胃炎及び十二指腸炎	14,559	34.0%	233,271,483

医療費 上位10疾病

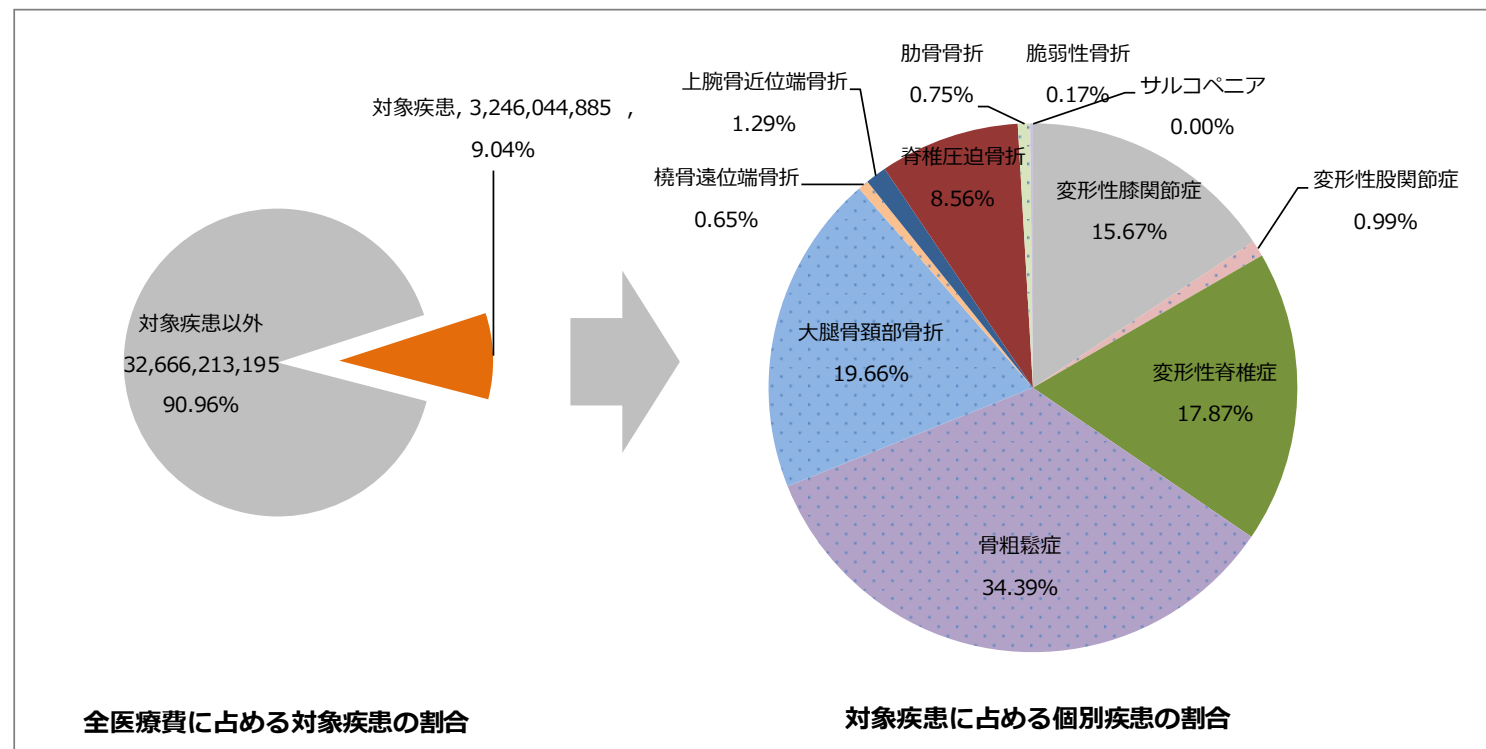
腎不全をはじめ、その他の心疾患（心不全等）、その他の悪性新生物〈腫瘍〉、高血圧性疾患が上位に来ております。

総合計	医療費総計 (円)	レセプト件数 (件)	患者数 (人)
	35,912,258,080	1,244,518	42,824

順位	中分類疾病項目	医療費 (円)	構成比(%) (医療費全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	腎不全	2,882,406,915	8.0%	6,630
2	その他の心疾患	2,415,178,030	6.7%	21,301
3	その他の悪性新生物〈腫瘍〉	1,827,727,587	5.1%	11,955
4	高血圧性疾患	1,546,113,415	4.3%	31,294
5	その他の消化器系の疾患	1,417,220,602	3.9%	28,176
6	骨折	1,271,813,338	3.5%	5,493
7	脳梗塞	1,211,145,163	3.4%	10,576
8	糖尿病	1,209,919,702	3.4%	20,832
9	骨の密度及び構造の障害	1,137,450,078	3.2%	13,614
10	その他の神経系の疾患	1,125,558,191	3.1%	17,082

ロコモティブシンドローム

➤ ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況

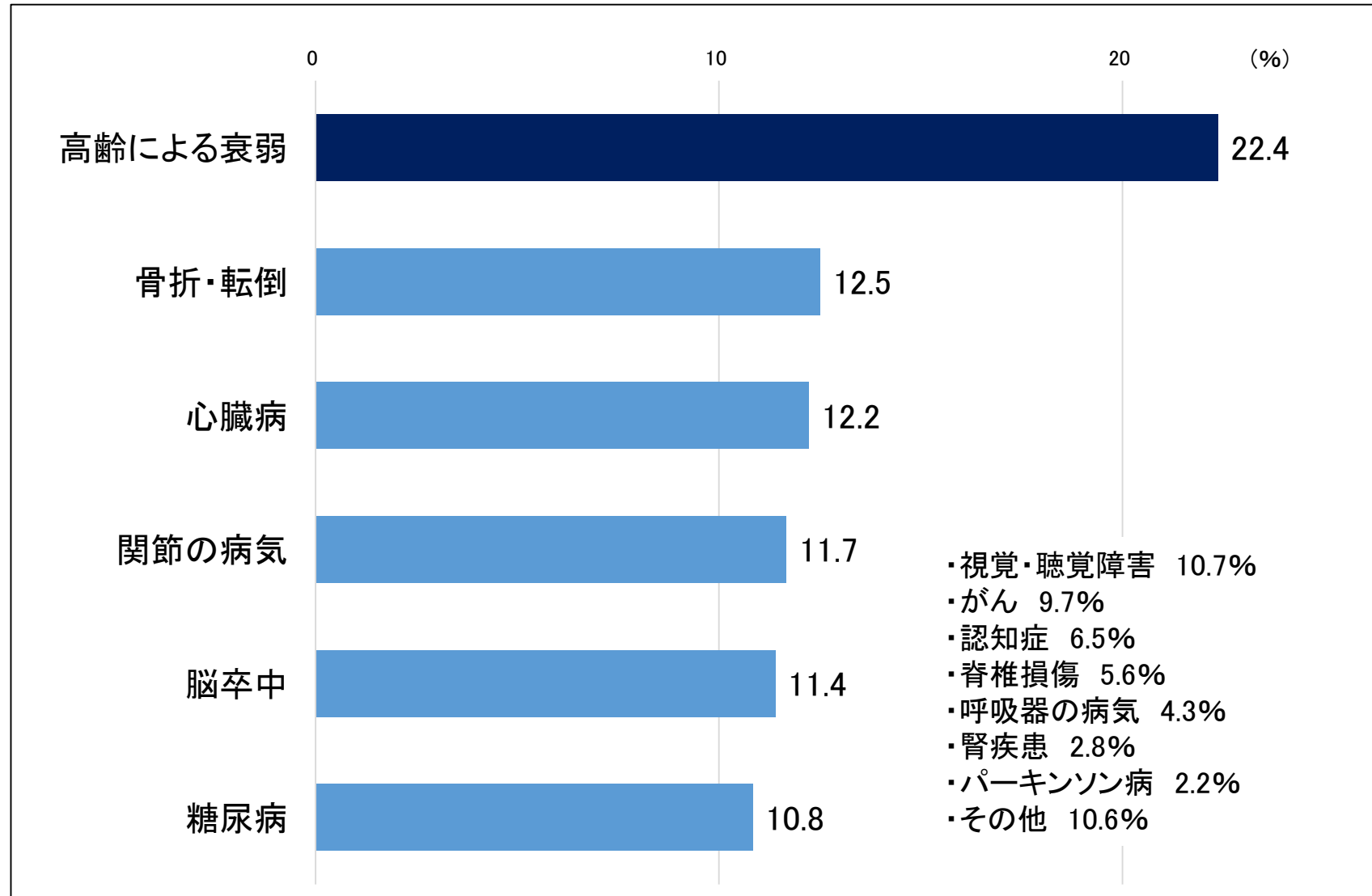


令和元年度

被保険者数	45,083人
ロコモティブシンドローム患者数	21,207人
ロコモティブシンドローム有病率	47.0%

※ロコモティブシンドローム：手足等の関節などの運動機能低下のために自立度が低下し、介護が必要となる危険性の高い状態のことをいいます。

介護・介助が必要となった主な原因



出展：※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書(令和2年3月 青森市)